



日本共産党 品川区議会議員

Japanese Communist Party

区政報告

2022年4月24日  
No. 352

安藤たい作

ニュース

バックナンバー 品川 安藤たい作ニュース 検索

twitter

@andotaisaku



つけて当たり前の眼鏡のように  
補聴器も気軽に使えるようにせな



漫画 安藤たい作

区議会で6回目の請願審査

# 補聴器購入費の助成を

【港区】所得制限なく助成、さらに「港区モデル」

港区は4月から助成制度を創設。対象：60歳以上・区指定の医療機関で補聴器が必要と診断された人。

補助限度額：13万7千円、住民税課税者は1/2の上限6万8500円。

さらに「港区モデル」として、「聞こえのチェックリスト」の活用や「聞こえに関する講座」等による難聴高齢者の早期発見、補聴器相談医や認定補聴器技能者との連携で、購入前の相談からアフターケアまで支援するとしています。

第一回定例区議会には今回で6回目となる「加齢性難聴者の補聴器購入費の補助制度を求める陳情」が提出され審議が行われました。賛成議員は会派を超え10名に。審議の様子をご報告します。

**既に23区中16区が助成**

この2年余で、購入費補助制度をつくった自治体は23区で8区から16区に、2倍に広がりました。港、目黒、大田、世田谷、渋谷など近隣区はすべて補助制度があります。特に港区では、全国的にも先進的な補助制度をこの4月からスタートしました(囲み)。

しかし厚生委員会の審査で品川区は、今回も「購入費の補助制度をつくる考えはない」と拒否し、自公も追認。共産党は委員会質疑に続き、最終本会議でも賛成討論を行い、「採択をして実現させよう」と訴えました。結果、共産党6名、生活者ネット2名、立憲、無所属議員の計10名が賛成。自民、公明、自・無、無所属区議らは反対し、不採択となりました。

**厚労省が「自治体が補聴器利用の仕組みの整備を」と提言**

これまでの審査との違いは、厚労省が「自治体における難聴高齢者の社会参加等に向けた適切な補聴器利用とその効果に関する研究」を行い、昨年3月「調査結果と提言」を出したことです。(裏面へ)

ニュースへのご感想も  
お気軽にお寄せ  
ください

区議控室 Tel 5742-6818/FAX 3778-3088  
事務所 西品川3-16-3 Tel/FAX 3491-3230  
taisakuando19740217@gmail.com

\*当ニュースは、議会活動および区政に関する政策等の広報活動に要する経費等をまかなう「政務活動費」で発行されています



提言では、自治体が取組みを強化すべきこととして、難聴高齢者の把握と補聴器利用につなげる仕組みの整備をするよう5項目にわたり具体的に求めています。

まず第1に、難聴を早期に見する仕組みをつくること。できれば、高齢者全年齢を対象に健診制度をつくること。さらに、自治体として補聴器相談医や認定補聴器技能者の存在の周知を図ること、使い続けるためのフォローアップ、区民への啓発を行うよう述べ、一体的な支援ができる体制整備を求めています。

これまで、品川区は「難聴は自覚できるので健診は必要ない」「普及・啓発、正しい使用方法については、専門機関、業界団体が行うべきであり、区の役割ではない」と述べてきました。しかし、厚労省は、自治体のこうした姿勢を変えて取り組むよう提言したのです。共産党はこの提

言をもとに採択に向け厳しく論戦しました。

一方、自民党は「区の今の進め方は理解できる」と述べ、公明党と自民・無は反対の理由を述べることができないにも関わらず不採択としました。

### 東京都の補助金制度も活用し実施を

東京都は、高齢者社会対策包括補助で、加齢性難聴者の補聴器購入費への半額を補助しています。この制度を活用すれば品川区の負担は半額です。引き続きの取組で世論を拡げ、議会も変え、品川区でも制度を現実させていきます。

### 〈事業復活支援金〉

- ☑申請は5月31日まで
- ☑登録確認機関の事前確認を無料で区が支援する制度があります

コロナの影響で売上高が30%以上減少した事業者への支援制度：事業復活支援金は、今年1/31日から5/31までが申請受付期間です。該当する方は忘れずに申請下さい。

また、「登録機関の事前確認が必要だが、どこでも1~3万円の費用がかかる。何とかならないか」という場合でも、区の商業ものづくり相談課に相談すれば、ビジネスカタリスト制度により専門家の派遣で無料の事前確認もできます。まずはお気軽にご相談下さい。



### 「医療と介護」報告・学習会

5/7(土)13:30~  
荏原第5地域センター  
第1集会室

- 講師：山本淑子さん  
(全日本民主医療機関連合事務局次長)
- 品川の福祉について  
区議団から報告

主催：日本共産党品川区議団

日本共産党

第三火曜・無料法律相談会 5月は5/17(火)18:30~20:30

【会場】安藤たい作事務所 【主催】共産党品川地区委員会  
\*予約制(5742-6818(控室)または3491-3230(事務所))

お困り事がありましたら、上記日程に関わらず  
お気軽にご相談下さい。



安藤たい作プロフィール

1974年仙台市生まれ。宮城教育大卒。漫画家を志し1998年上京。2002年コミック誌奨励賞受賞。派遣社員4年を経て、2006年区議補選で初当選。2019年~4期目へ。家族、妻・二女。